

「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」報告

沖縄県立芸術大学附属研究所

1. 活動概要

「平成19年度沖縄県立芸術大学教育研究支援資金」を受けて実施された研究プロジェクト「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」の活動概要について以下のとおり報告する。

本プロジェクトは、鎌倉芳太郎収集沖縄関係資料のうち、ご遺族である鎌倉秀雄先生宅に最後まで保管されていた数百点の資料（以下、これを「鎌倉芳太郎新資料」とし、「新資料」と略する）が、2007年3月に鎌倉秀雄先生より新たに寄贈されたことを受けて計画されたものである。

8月6日、「学内教育研究支援資金」採択内定の報を受け、活動計画の確認のために第1回会議を開いた。プロジェクト実施に当たって、資料の内容から、整理・研究は以下の三班に分けて行うことを確認した。

文字資料班：波照間永吉（リーダー）・波平八郎・喜屋武盛也・久貝典子

染織資料班：柳 悦州（サブ・リーダー）・小倉美佐・祝嶺恭子・平田美奈子

陶磁器資料班：島袋常秀・安里 進

写真資料班：久万田晋（サブ・リーダー）・栗国恭子

第1回会議においては、総勢11名のメンバーで構成された各チームの調査研究が円滑に行われるように、①新資料調査及び保管の場所を附属研究所図書資料室内に設定すること、②調査・研究活動については各班班長（前掲メンバーリストの筆頭者）を中心にすすめ、整理・研究の具体的な進行および内容については各班の裁量にゆだねること、③予算執行（特に資料整理・データ保存のためにスキャナー、コンピュータを購入すること）についての確認、④新メンバーとして陶磁器資料班に島袋克史、写真資料班に学生数名を参入させること、⑤次回はメンバーで新資料見学・調査会を行うことなどを確認し合い、終了した。

8月15日付の学長からの通知により「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」

プロジェクト採択の報告を受けた。

8月17日、メンバーによる新資料見学・調査会が本学図書・芸術資料館で行われ、それぞれのチームで担当する資料の大まかな説明と確認がなされた後、質疑応答などが行われた。その後、当日の見学・調査会の総括として①紅型型紙の写真資料が多数存在することから、写真資料、染織資料の各班は共同調査を行う、②可能な限り第3次鎌倉資料（平成16年寄贈、古文書・原稿・刊行物・写真資料など計121点）の調査も行うこと、③新メンバーとして照屋理（本学博士課程）、本多摂子（附属研究所共同研究員）を参加させることなどの提案があり、認められた。以後は各班で正確な整理分類をなし、研究課題等につき調査・研究をすすめることを確認した。各班の分担は次の通りである。

①文字資料班（波照間永吉・波平八郎・喜屋武盛也・久貝典子・照屋理）

喜屋武盛也 新資料目録No.1・2・3・4・5・6・7・8・9・10担当

波平八郎 " " No.11・12・13・14・15担当

久貝典子 " " No.16・17・18・19・20・21・22担当

波照間永吉 文字資料の全体統括

②染織資料班（柳 悦州・小倉美佐・祝嶺恭子・平田美奈子・本多摂子）

柳 悦州 新資料目録No.1～14担当（写真撮影・データベース作成）

本多摂子 " " "

③陶磁器資料班（島袋常秀・安里 進・島袋克史）

安里 進 新資料目録No.1～67担当（データベース作成）

④写真資料班（久万田晋・栗国恭子・学生数名）

久万田晋 新資料目録No.1～256担当

栗国恭子 " " "

その後、各班ごとに調査・研究を進めた成果の報告は、翌平成20年3月25日に久万田・柳・久貝の元に提出し、久万田・久貝でまとめることとした。

2. 成果・展望

本年度の目的である「鎌倉芳太郎新資料の調査・整理・記録」のうち、調査・記録に関しては、画像データベース作成、各寄贈資料の調査・記録作業等を各班で行い、概ね基礎作業を終了し、所期の目標はほぼ達成できたと評価する（各班

の作成した成果物は、第3項にデータとして添付して示す。

各班の成果を個別にみると、文字資料については、鎌倉芳太郎の収集した稀観本などが含まれていること、備考欄に示されたように朱筆が入っている箇所があること（No.36）、その他、銘や様々な裏書きを施してある資料の存在すること（No.27）、「春照」の雅号で掲載された論文等（No.42）が含まれていることが、新資料の価値・特徴として確認された。

染織資料班では、新資料No.3～5について、これらが染見本であること、現在一般に認識されているところの型とは違った色や図案が多数含まれていることが確認された。

陶磁器資料班においては、産地は概ね壺屋焼と輸入陶磁に大別され、完形又はほぼ完形で残存しているものは5点であるが、その中の輸入陶磁には、これまでの記録等に交易品としての記事が見えず、新たに付加すべきものが見出されたことは特筆される。また、寄贈時にはそれぞれが破片状態であったものを試みに接合したところ、これらから10点近い碗が復元されることが明らかとなった。このことから、鎌倉の陶磁片の採集場所が特定される可能性があるとともに、これらの陶磁器の使用目的と残存の理由（儀礼的な空間での使用）が推考されることとなった。

写真資料班では、総数256枚の写真の調査・整理・記録作業が行われ、旧写真（「鎌倉芳太郎写真画像データベース」）と照合した結果、対応するものが約40%あることが確認された。

以上の各班の成果を総括した結果、今回寄贈された新資料は、例えば、写真資料は今後国の重要文化財への追加指定を目指し、申請作業を行うべきものであることなど、鎌倉の収集した文献（文字資料）・染織製品および裂地・陶磁器・撮影写真などが、歴史的な資料となるのみでなく、現在のそれぞれの分野の研究の進展を促す重要な資料であることが最終的に確認された。

しかしながら、問題点も幾つか明らかになった。まず、これらの資料は時間の経過と共に劣化してゆくものであるから、今後は資料の整理作業という観点のみならず、新旧資料の「整理・保存」という方向を視野に入れて調査作業を展開してゆく必要があること。今回の教育研究支援基金においては、新資料をデータベース化し、一般公開が可能となるように整備した範囲においては、部分的ではあ

るが、本学における教育活動に有効利用できる状態になったと評価される。しかし、今後は新資料の「整理 - 研究 保存」という目標に向け新たな活動を展開しなければならないこと。また、新資料と第3次資料及び第1・2次寄贈の旧資料との統合という点については、1年度限りの「教育研究支援」では時間的・予算的に限界があり、当初の目的を完全に達成できているとはいえない。これらの点を解決していくためには、鎌倉芳太郎資料全体の「整理 研究 保存」は大学を挙げての事業とすべきであること。今後の重要な課題としてこれらの問題に取り組むべきであることを訴えたい。新資料を旧資料と統合しながら調査・記録研究をすすめ、整理・保存し、さらには沖縄の芸術・文化に関心を寄せる多くの人々に資料として提供する態勢を構築することが最終的な目標である。

そのためにはこれら資料群を「整理 研究 保存」するスタッフの育成や、保存し、情報提供するための方法・技術的な問題を解決しなければならない。これは大きく経済的な問題（予算）に係わってくることである。これらの大きな問題については、本学全体で取り組む必要があり、鎌倉芳太郎資料全体の利活用と保護という観点から、新たな整理・調査プロジェクトを立ち上げていく必要がある。

*（久貝典子・波照間永吉）

新しく“発見”された鎌倉芳太郎資料

波照間 永 吉

去る3月28日、東京沼袋の鎌倉秀雄先生（日本画家。日本美術院理事）宅で、故鎌倉芳太郎先生が収集された沖縄の美術工芸・文化研究資料（「鎌倉新資料」と称する）が沖縄県立芸大に寄贈された。同家の鎌倉資料の県芸への寄贈はこれで四度目である。最初は、県立芸大開学に際してのことであった。この時は、復帰の年琉球政府立博物館で開催され、沖縄文化の質の高さと量の豊かさを示し、沖縄中の人々に自信を与えてくれた写真展「50年前の沖縄」で展示された写真とそのガラス原板、そして81冊の調査ノート（「鎌倉ノート」）などが贈られた。2度目は開学後の1987年、型絵染め作家・人間国宝鎌倉芳太郎誕生に大きな影響を及ぼした、紅型裂地867枚と型紙1,414枚が贈られた。紅型研究の貴重な資料である。そして3度目は2004年、古文書・古地図など18点と紙焼きの写真資料101枚が贈られた。そして今回である。今回贈られた資料の総点数は397点。その内訳は(1)紅型他染織関係資料104点、(2)写真関係資料242点、(3)文字資料46点、そして(4)陶磁器他資料5点である。

以下、それぞれの内容について概略を紹介しよう。(1)の紅型他染織関係資料は①紅型着尺・反物・裂地類、②紅型風呂敷（ウチュクイ）、③緋・型染め・染め作品に分けられる。その内でも特に注目されるのは「絹緑地鎖繫菊紋型染」で、これは伊敷索按司の妹と姪が着用していた衣装の一部とされるものである。藍色の菊の中心におかれた朱色は今も色を失っていない。鎌倉はこれを最古の紅型と考定した。久米島調査ノート（No.9）に「久米島兼城ノヌンドンチ、メツトンチ所蔵ノ古代染色胴衣八四百年以上ノ経過ナル家伝アル（中略）加フルニ両トンチ保護ノ喜久里家は伊敷索按司ノ統ヲ伝ヘテ兼城ノ豪族ナリ（中略）コノ古帛ノ製作年代ヲ考定スルニハ伊敷索按司ノ生存年代ノ研究ヲ要ス」と書いている。この記事に基づくと、この「古代染色胴衣」はおよそ500年以前のもとなる。鎌倉ノートの「古代染色胴衣」が今回寄贈された「絹緑地鎖繫菊紋型染」であれば、紅型の歴史もそこまで遡ることになる。

ところで、祝嶺恭子県立芸大名誉教授によると、この「絹緑地鎖繫菊紋型染」の衣装は森田永吉（画家。1907～1966）が久米島調査の折り収集してきたもので、その一部を鎌倉に供与したものであるという伝聞があるとのことである。衣装の“もう一つの一部”はすでに県立博物館に納められているという。この伝聞の品と「ノート」の「古代染色胴衣」とが同一物であるか、興味をひくところである。

ウチュクイは筒描きの風呂敷で「苧麻紺地松竹梅丸紋大風呂敷」と名前が付けられたが、中央に「寿」の字が染め抜かれている。これは鎌倉ノートNo.6に「11月19日ウチュクイヲ求ム／大里王子ノ使用シタルモノナリ コレト揃物ナリト『ミチヂ』アリ丸紋籠ノ模様アル」云々と記された収集資料群の一つであろう。

このウチュクイと関連する重要な資料が⁽³⁾に含まれる「沢砥家文様図案帳」である。これには彩色された2冊と墨で描かれた1冊の合計3冊がある。大きさは33センチ×28センチ、33センチ×22.5センチなどと大型である。いずれも1ページごとに1枚のウチュクイの図案が描かれ、彩色本には配色の見本となる色づけがなされている。成立の年代は分からないが、1冊の紙背には「種子島弾正」宛書簡の文案が認められるから、この人物が特定されると自ずと分かってくるであろう。ウチュクイの図案帳の存在が確認されるのは初めてで（祝嶺名誉教授談）、ウチュクイ制作の工程や背景、そして意匠の多様さが具体性を持って明らかにされることが期待される。

紅型衣装1着は鎌倉秀雄先生愛蔵の一品で、この衣装を着けた女性をモデルに作品を描いたことがあるほどである。年代的には19世紀以降の紅型作品という鑑定がなされているが、色遣いの繊細さは先生の賞賛されることである。

また、紅型の染め見本「木綿型染彩色見本」は両面染めの19種類の染めの見本で、反物になっている。巻きの初めに「光緒拾七年（1891年）四月／城間亀」の署名がある。「木綿細模様型染彩色見本」も反物で、手織りの木綿に29種類の染め見本を収める。他には、短冊型になった「木綿臚型染彩色見本」80枚がある。これらは第2回目の寄贈の時に収められた867枚の裂地と同類のもので、今後の紅型研究の上で貴重な資料となるはずのものである。

(2)の写真資料には①「琉球芸術調査資料」の票が裏面に貼付された台紙付きの写真50枚、②紅型型紙写真ほかの紅型関係資料となる写真96枚、③首里城他の写真20枚、④その他からなる。この中でも①の写真は平成17年3月に国の重要

文化財に指定された写真と一群を構成するもので、「調査資料」票に作品の名称等が鎌倉の手によって記されている。早急に調査をして、重要文化財の追加申請の手続きをしなければならない。

(4)の陶磁器資料は二つの木箱に保管されてきたものが主である。その中に完形品の「菊花文青花小碗」があるが、これは16・7世紀の東南アジア産のものともみられている。陶磁器資料は、18世紀頃の壺屋焼きの小碗・大碗の破片が多数を占める。その中に14世紀～15世紀の中国青磁の破片が数点混じっている。これら陶磁器資料について安里進教授(考古学)は、a. 壺屋焼きの破片が碗類・小碗類に集中していることは、これらが特定の機能を持つ空間で使用されたものであることを示している(家庭など、様々な種類の陶磁器が使用される場所ではない)。また、破片の口縁部に使用痕が認められることからこれらは製造段階での破砕品ではない)。b. 中国青磁が混じっていることは、中国青磁を使用することの出来る階層の人々の活動空間を考えなければならないこと、を指摘された。そして、この二つの条件をみたますこれら資料の採集場所として、首里城およびその周辺の施設を想定された。

ところで、もう一つの完形品である壺屋焼きの「青色釉花瓶」は、一輪の花を容れてながく鎌倉家の客間を飾っていたものである。鎌倉秀雄先生と宮城篤正学長との懇談の中で寄贈品の一つに加えられた。鎌倉家の沖縄に対するお心を示すエピソードとして紹介しておきたい。

このように概略をみただけでも、今回寄贈された資料がどれほどの価値を有する物であるかがおわかりいただけると思う。言うまでもないことであるが、早急に専門家の手によって精密な研究がなされなければならない。これが済まないことには、これだけの物を県民の皆様のお目にかけることも叶わない。例えば、ウチクイの「文様図案帳」などはいたみが激しく、裏打ちなどの補修作業を急がなければ展観は無理である。また紅型布地・裂地類は一つ一つの分類、分析研究が必要である。第2回目に贈られた裂地876枚の分類・分析とともに緊急に調査を行う必要がある。県当局のご高配を期待したい。

鎌倉資料を沖縄県へ、沖縄県立芸大へ寄贈することが鎌倉芳太郎先生のご遺志であったことは、初回から今回の寄贈に至るまで、常に仲介の労をとってくださった高草茂先生の証するところでもある。「ワンニン ウチナンチュドーヤー」

(俺も沖縄人だぞ)と、確たる首里言葉で語った鎌倉芳太郎先生の沖縄に寄せる思いを実現するためにも整理・研究が急がれねばならない。そして一日も早い県民への公開・提供を実現したいと思う。

* 2007年5月21日付け『沖縄タイムス』朝刊掲載の拙稿「発見された紅型紋様図案帳」(タイトルは沖縄タイムス編集部による)は本稿を基にしたものである。

鎌倉新資料目録

2007年3月寄贈

沖縄県立芸術大学
附属図書・芸術資料館蔵
附属研究所調査・編集

文字資料の概要と凡例

今回寄贈された文字資料は22点（総数46点）である。これらは大きく「紅型資料」（目録番号1～6。総数16点）、「一枚もの文字資料」（目録番号7～15。総数9点）、「図書」（目録番号16～20。総数19点）、「新聞資料」（目録番号21・22。総数2点）に分けられる。これらのうちの「紅型資料」に「沢岷家文様図案帖」（2冊。彩色）、「沢岷家文様図案帖」（1冊。墨色）など、大きな価値を有するものがあつた。その他の資料については版本「画工潛覧」、「古代文字」の写本「上（ウエツフミ）」、「ノート原稿」、「沖縄教育」（大正15年10月号）、台湾大学発行の刊本『歴代宝案』（全15冊）などが特筆される。以下、22点の文字資料の個別調査の結果をカード形式で報告する。

整理項目は①資料整理番号、②資料名、③分類、④法量（規格=サイズ）、⑤頁数、⑥備考（留意事項の摘記）の6つである。なお、記事中の は虫損などにより判読不能の文字を示す。

文字資料

番号：1

資料名：紅型型紙拓本

分類：紅型資料 拓本 規格 (cm) タテ×ヨコ：27×38

頁数 (丁数)：台紙に2枚の拓本が貼り付けられたもの4葉、その他に拓本のみ7枚

備考：

[上]

銘「彫先調分 調分拾斤也」(赤線にて削除)

「西三月朔日買入此通壺枚澤岬

大清道光貳拾九年己酉 此通壺枚

加那澤岬

西三月朔日買入代分貳百文 弟澤岬筑親雲上」

銘「町端村弟澤岬筑親雲上」

[下]

銘「咸豐六年 (丙辰) 四月二日切調 三枚之内 下儀保村 知念筑親雲上」

銘「大清道光三年 (癸未) 二月十一日仕立 下儀保村嫡子 知念筑親雲上」

[?]

銘「知男知 拾五枚之内 下儀保村 知念」

銘「 亥三月十三日仕立之 當蔵村 知念筑登之」

[?]

銘「戊申三月吉日 三枚之内下儀保村 知念筑親雲上」

銘「次男知」

ほか、綴じられず重なり合ったものが計7枚

番号：2

資料名：黄色地ムルドゥチリ御絵図

分類：織物資料 絵図

備考：台紙貼り

「琉球芸術調査資料」の札あり

番号：3

資料名：澤岬家文様図案帖

分類：紅型資料 絵図集 規格 (cm) タテ×ヨコ：33×22.5

備考：風呂敷用図案 裏表紙なし

ページ (漢数字で番号)

[残欠] 3、6、7、9、10、11、12、13、14、16、17、

番号：4

資料名：沢岬家文様図案帖

分類：紅型資料 絵図集 規格 (cm) タテ×ヨコ：28×35

備考：風呂敷用図案 種子島弾正様の裏書

番号：5

資料名：沢岬家文様図案帖

分類：紅型資料 絵図集 規格 (cm) タテ×ヨコ：24×20

備考：風呂敷用図案 銘「上儀保沢岬小」

番号：6

資料名：中国絵模写

分類：紅型資料 図案 規格 (cm) タテ×ヨコ：24×20

備考：女性と老人、燭台等の生活用品

番号：7

資料名：ノート原稿

備考：5枚綴り（表・裏表紙付き）

番号：8

資料名：主論文

備考：封筒状（内容物なし）、資料37「原稿断片」を投入

番号：9

資料名：模写図版

備考：武昌（中国湖南省図模写紙）

番号：10

資料名：版本

著者：狩野雪静 ページ数（丁数）：27丁 年代：元文5年（1740）

備考：

外題「画工潜覧」

柱題「畫巧潜覧五」

識語（朱筆）

「画巧潜覧 [狩野雪静画并著 元文五年刊] 全六巻之内 第五巻 和漢地紋畫」

識語（朱筆）

「此畫が本邦に於ける更紗模様 of 刊本中最古のものなるべしと思ふ。」

識語（朱筆）

「明治四十四年七月 遠藤 』

番号：11

資料名：原稿断片

規格：原稿用紙4枚（詳細は備考参照） ページ数（丁数）：4枚

備考：

規格（cm）タテ×ヨコ

1枚目～3枚目 24.6×32.7 「琉球藝術調査報告」

4枚目 25.8×35.5 「12 25（YH特製）」

(見いだされる語句)

(1枚目)

「藤田豊八博士」「明正統年間」「家譜の研究」

(2枚目)

「歴代賣案」「昭和七年」「那覇市天尊廟側の倶楽部」「名嘉山大昌氏」「理研
陽画感光紙を以て、(略)影写」

(3枚目)

「註一」「『史学雑誌』(二八・八・八〇三)藤田豊八著『東西交渉史の研究』
(南海篇)(四〇七に収載。)」

(4枚目)

雲岡石佛寺第五窟々内後室西壁佛傳畫鐵鼓競射図」

番号：12

資料名：拓本

備考：画用紙台紙貼付(1枚・半紙大)

番号：13

資料名：判子拓本

備考：台紙貼り

番号：14

資料名：写本資料

規格(cm)タテ×ヨコ：28.0×19.8 素材：原稿用紙「特製 美濃野紙赤十二行」

ページ数(丁数)：9丁

備考：

共表紙・仮綴

外題「上記 ウエツフミ」

内題「ウエツフミノツツリ」

(古代文字の本文にカタカナでフリガナ)

女性(6人)の集合写真1葉(タテ8cm×ヨコ5.8cm)がはさみこまれている。

番号：15

資料名：鎌倉ノートコピー

規格 (cm) タテ×ヨコ：30.0 × 26.0

ページ数 (丁数)：1枚

備考：

「臨海寺隠居寺

仙寿院 (那覇市松下町二丁目十六)

不動像 結架火生三昧像」

「古琉球に於ける不動の様式 [安国寺 護国寺] 神徳寺」

番号：16

資料名：沖縄教育 十月號

分類：学術図書

規格 (cm) タテ×ヨコ：22 × 15.3

年代：大正15年10月10日

備考：

1. 編集者：國吉眞哲

2. 発行：沖縄県教育会 沖縄県教育会事務所

3. 頁数：58

4. 目次：雑感二三

琉球神座考断章(上) 鎌倉春熙(「おもろさうし」に関する内容)

隋書に現はれたる琉球(上)

伊波普猷

第1歩

喜納政敦

県下小学校長会の答申案と建議案

漫詩閑談

むむ・あかさき

校長の印象

静湖庵主人

木鶏亭雑筆

穫履兒

古里訪問詩集補遺

新屋敷幸繁

不思議な孤独

菊池 亮

空にほゆる

宮里静湖

大宜味の追憶

星野しげる

心のふるえ

島袋哀子

子を持ちつゝ
平原の斜層（三部作）
雑ろく
編集後記

北村白楊
川俣 和

番号：17

資料名：日本民藝館展

分類：図書 カタログ 規格 (cm) タテ×ヨコ：21×14.8

色・素材等：白紙に印刷（白黒） 年代：昭和30年5月13日

備考：

1. 編集者：毎日新聞・日本民藝館・英文毎日
2. 発行：毎日新聞・日本民藝館・英文毎日
3. 頁数：39（第一部...21、第二部...18）
4. 目次：（出品目録） 第一部 古作品
 - 一 沖縄の紅型
 - 二 沖縄の織物
 - 三 羽前被衣 第二部 新作品
 - 河井寛次郎
 - 濱田庄司
 - 芹沢銈介
5. その他：本資料は図録である（「新資料目録」においてはカタログとなっている）。会期は昭和30年5月13日～18日。写真は白黒。

番号:18

資料名：沖縄の染織事情

分類：図書 カタログ 規格 (cm) タテ×ヨコ：26.2×18

色・素材等：白紙に印刷（白黒） 年代：昭和45年8月

備考：

1. 編集者：安田丈一（著者）・安部直人（発行人）

2. 発行：(株)伊勢丹

3. 頁数：29

4. 目次：特別リポート

沖繩と琉球ともいうが

沖繩織物の歴史

貢納布と御絵図帳

沖繩本島の人々

久米島つむぎ

石垣島と竹富島

宮古島

琉球藍

琉球染織の現状と将来

明日の染料

5. その他：目次に項目番号がなく、で示されている。

番号：19

資料名：国宝（建造物）目録

分類：図書 目録

規格（cm）タテ×ヨコ：21×15

色・素材等：白紙に印刷

年代：昭和16年3月31日

備考：

1. 編集者：文部省宗教局保存課

2. 発行：文部省宗教局保存課

3. 目次：北海道から沖縄県までの各県について、以下の項目に沿って国宝（建造物）の目録を記載

資格消滅セル国宝（建造物）

国宝（建造物）指定棟数表

国宝（建造物）目録索引（五十音順）

4. その他：①P.187に鎌倉芳太郎氏自身の書き込みあり。

旧琉球 首里王城正殿

大正十三年取壊二着手

電報ニテ内務省ヨリ停止

同年伊東博士 二実地

調査、国賣トシテ

修理 改造シタリ 爾來調査資料ヲ提出シ、国賣件数ヲ増ス

- ②「沖繩タイムス東京支社 記者 富原晶子」の名刺あり（挟み込み資料）

番号：20

資料名：歴代賣案

分類：図書 歴史

規格 (cm) タテ×ヨコ：27.4×20.4

色・素材等：表紙はクロス装幀（濃紺）に金字

年代：中華民國六十一（1972）年六月 産地：台湾

備考：

1. 出版者：国立台湾大学 臺北市羅斯福路四段
2. 印刷者：精華印書館^{股份有限公司} 臺北市長沙街二段七十一號
3. 目次：

- ①第一冊 第一集卷一至卷二十 / 永樂二十二年至康熙三十五年

第一集 目次

卷一（一）・卷二（五三）・卷三（一〇三）・卷四（一二九）・卷五（一五九）・
卷六（一八七）・卷七（二一一）・卷八（二三九）・卷九（二七七）・
卷一〇（三一七）・卷一一（三五三）・卷一二（三八九）・卷一三（四二一）・
卷一四（四四九）・卷一五（四七九）・卷一六（五〇七）・卷一七（五四三）・
卷一八（五六七）・卷一九（六一一）・卷二十（六四七）

- ②第二冊 第一集卷二十一至卷四十三 / 洪熙元年至康熙三十五年

卷二一（六九三）・卷二二（七三七）・卷二三（七六七）・卷二四（七九五）・
卷二五（八二一）・卷二六（八五九）・卷二七（八九七）・卷二八（九二五）・
卷二九（九七三）・卷三〇（一〇〇五）・卷三一（一〇四七）・卷三二（一〇八三）・
卷三三（一一一一）・卷三四（原缺）・卷三八（原缺）・
卷三九（一二四三）・卷四〇（一二七三）・卷四一（一三〇三）・卷四二（一三三一）・
卷四三（一三六九）・卷四四（原缺）・卷四五（原缺）・卷

四六(原缺)·卷四七(原缺)·卷四八(原缺)·卷四九(原缺)

③ 第三冊 第二集卷一至卷十四 / 康熙三十六年至雍正二年

目錄上(一三八七)·目錄下(一四七三)·卷一(一五三一)·卷二(一五六一)·卷三(一五八九)·卷四(一六一一)·卷五(一六四一)·卷六(一六六三)·卷七(一七〇一)·卷八(一七二五)·卷九(一七五五)·卷一〇(一七九一)·卷一一(一八一九)·卷一二(一八五一)·卷一三(一八七九)·卷一四(一九二五)

④ 第四冊 第二集卷一五至卷三十 / 雍正三年至乾隆十四年

卷一五(一九七三)·卷一六(二〇〇七)·卷一七(二〇五九)·卷一八(二一〇七)·卷一九(二一四一)·卷二十(二一七三)·卷二一(二二〇九)·卷二二(二二四五)·卷二三(二二八五)·卷二四(二三一一)·卷二五(二三六一)·卷二六(二三九九)·卷二七(二四三一)·卷二八(二四五七)·卷二九(二五〇三)·卷三〇(二五三一)

⑤ 第五冊 第二集卷三十一至卷四十九 / 乾隆十五年 至乾隆三十年

卷三一(二五六三)·卷三二(二六二九)·卷三三(二六五一)·卷三四(二六九五)·卷三五(二七一三)·卷三六(二七三九)·卷三七(二七七七)·卷三八(二七九九)·卷三九(二八二五)·卷四〇(二八六一)·卷四一(二八八七)·卷四二(二九一三)·卷四三(二九四九)·卷四四(二九六七)·卷四五(三〇〇一)·卷四六(三〇四一)·卷四七(三〇九五)·卷四八(三一—五)·卷四九(三一四七)

⑥ 第六冊 第二集卷五十至卷七十四 / 乾隆三十一年至乾隆五十四年

卷五〇(三一六三)·卷五一(三二〇三)·卷五二(三二三七)·卷五三(三二四七)·卷五四(三二五七)·卷五五(三二八一)·卷五六(三三〇三)·卷五七(三三二一)·卷五八(三三三五)·卷五九(三三四九)·卷六〇(三三七五)·卷六一(三四〇九)·卷六二(三四二七)·卷六三(三四四一)·卷六四(三四六一)·卷六五(三四八三)·卷六六(三五〇一)·卷六七(三五二七)·卷六八(三五三七)·卷六九(三五六三)·卷七〇(三六〇五)·卷七一(三六一七)·卷七二(三六四九)·卷七三(三六九五)·卷七四(三七三五)

⑦ 第七冊 第二集卷七十五至卷八十九 / 乾隆五十三年至嘉慶四年

卷七五(三七六三)·卷七六(三八一五)·卷七七(三八五一)·卷七八(三七九三)·卷七九(三九三一)·卷八〇(三九八三)·卷八一(原缺)·卷八二(四〇二一)·卷八三(四〇五五)·卷八四(四一〇七)·卷八五(四一四一)·卷八六(四二〇七)·卷八七(四二三七)·卷八八(四二六一)·卷八九(四三〇三)

⑧第八册 第二集卷九十至卷一〇四 / 嘉慶四年至嘉慶十三年

卷九十(四三二五)·卷九一(四三八五)·卷九二(四四五五)·卷九三(四四九七)·卷九四(四五五五)·卷九五(四六三七)·卷九六(四六七一)·卷九七(四六九九)·卷九八(四七二三)·卷九九(四七六三)·卷一〇〇(四七九九)·卷一〇一(四八二一)·卷一〇二(四八五一)·卷一〇三(原缺)·卷一〇四(四八七九)

⑨第九册 第二集卷一〇五至卷一二二 / 嘉慶十三年至嘉慶二十二年

卷一〇五(四九二九)·卷一〇六(四九五九)·卷一〇七(四九八九)·卷一〇八(五〇一九)·卷一〇九(五〇六九)·卷一一〇(五一一七)·卷一一一(五一五五)·卷一一二(四一九五)·卷一一三(五二二五)·卷一一四(原缺)·卷一一五(五二五五)·卷一一六(五二七五)·卷一一七(五三一九)·卷一一八(五三四七)·卷一一九(五三七九)·卷一二〇(五四〇七)·卷一二一(五四四九)·卷一二二(五四七九)

⑩第十册 第二集卷一二三至卷一四五 / 嘉慶二十二年至道光七年

卷一二三(五五一五)·卷一二四(五五五三)·卷一二五(五六〇三)·卷一二六(原缺)·卷一二七(原缺)·卷一二八(五六五三)·卷一二九(原缺)·卷一三〇(原缺)·卷一三一(原缺)·卷一三二(原缺)·卷一三三(五六七五)·卷一三四(五七〇九)·卷一三五(五七二五)·卷一三六(五七五五)·卷一三七(原缺)·卷一三八(原缺)·卷一三九(五七八五)·卷一四〇(五八一三)·卷一四一(五八六九)·卷一四二(五九〇七)·卷一四三(五九五—)·卷一四四(五九九一)·卷一四五(六〇四三)

⑪第十一册 第二集卷一四六至卷一六〇 / 道光七年至道光十五年

卷一四九(六二三三)·卷一五〇(六二五三)·卷一五一(六二八九)·卷一五二(六三四五)·卷一五三(六三七—)·卷一五四(六三九三)·

卷一五五(六四三五)・卷一五六(六四八九)・卷一五七(六五一三)・
卷一五八(六五三九)・卷一五九(六五八七)・卷一六〇(六六五五)

⑫第十二冊 第二集卷一六一至卷一七三 / 道光十五年至道光二十一年

卷一六一(六六八三)・卷一六二(六七〇七)・卷一六三(六七四九)・
卷一六四(六八二五)・卷一六五(六八六三)・卷一六六(六八九一)・
卷一六七(六九三一)・卷一六八(七〇〇一)・卷一六九(七〇三五)・
卷一七〇(七〇七一)・卷一七一(七一二三)・卷一七二(七一九七)・
卷一七三(七二二五)

⑬第十三冊 第二集卷一七四至卷一八九 / 道光二十一年至道光三十年

卷一七四(七二六五)・卷一七五(七二九三)・卷一七六(原缺)・卷
一七七(七三三七)・卷一七八(七三五―)・卷一七九(七三八五)・
卷一八〇(七四一三)・卷一八一(七四五七)・卷一八二(七五〇五)・
卷一八三(七五二九)・卷一八四(七五七一)・卷一八五(七五九五)・
卷一八六(七六二九)・卷一八七(七六七九)・卷一八八(七七一七)・
卷一八九(七七四九)

⑭第十四冊 第二集卷一九〇至卷二〇〇 / 道光三十年至咸豐八年

卷一九〇(七八二一)・卷一九一(七八七一)・卷一九二(七九二一)・
卷一九三(七九九七)・卷一九四(八〇二九)・卷一九五(八〇七一)・
卷一九六(八一二五)・卷一九七(八二一五)・卷一九八(原缺)・
卷一九九(八二七九)・卷二〇〇(八三二一)

⑮第十五冊 第三集咨集、別集 / 康熙五十八年至同治六年

卷一(八四一一)・卷二(八四三三)・卷三(八四四七)・卷四(八四八三)・
卷五(八四九七)・卷六(八五一九)・卷七(八五三三)・卷八(八五九五)・
卷九(八六二九)・卷十(八六三七)・卷十一(八六六九)・卷十二(八六九一)・
卷十三(八七〇九)

咨集 文組方(八七三一)

別集 嘒嘆情状(八七三七)

冠船之時唐人持来品貨物録(八七七五)

4. その他

①第2冊の目次は、第1冊に掲載されている。

②表紙年代に付されたノは、そこで改行、の意。

番号：21

資料名：THE MAINICHI DAILY NEWS SATURDAY, JUNE 20,1964

分類：図書 新聞 規格 (cm) タテ×ヨコ：54.2×41

年代：昭和39年6月20日

備考：

1. 編集者：毎日デイリーニュース社
2. 発行：毎日デイリーニュース社
3. 頁数：1
4. その他：故鎌倉芳太郎氏の業績紹介記事を5面に掲載。執筆はヨシカワヒデコ。
Bingata, Traditional Okinawa Dyeing Pattern, Re-Discovered
By Hideko Yoshikawa, Staff writer

番号：22

資料名：日本染色新聞

分類：図書 新聞 規格 (cm) タテ×ヨコ：54.2×41

年代：昭和40年3月22日

備考：

1. 編集者：平塚清文（発行人）
2. 発行：株式会社 日本染色新聞社
3. 頁数：4
4. その他：昭和40年3月9日～14日まで、東京上野松坂屋で開かれた展示会の紹介記事を掲載。応募数179点の内、優秀賞3点、奨励賞3点を含む79点が展示された。故鎌倉芳太郎氏は東京教育委員会賞受賞。

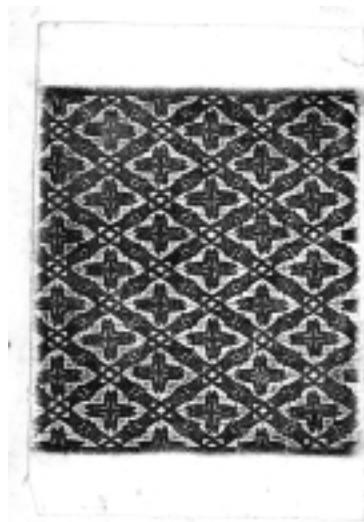
①3面に以下の見出しにて掲載される。

濃厚な格調目立つノ東京で「日本染織展」

銘、新編紅洋紙拓本、上、



銘、新編紅洋紙拓本、上、
此拓本係由紅洋紙拓出，其紋樣為
由一連串之菱形組成，其中心
為一圓形，其外圍為一正方形，
此種紋樣，在紅洋紙拓本中，
極為罕見，故極具珍貴價值。



銘、新編紅洋紙拓本、上、
此拓本係由紅洋紙拓出，其紋樣為
由一連串之菱形組成，其中心
為一圓形，其外圍為一正方形，
此種紋樣，在紅洋紙拓本中，
極為罕見，故極具珍貴價值。

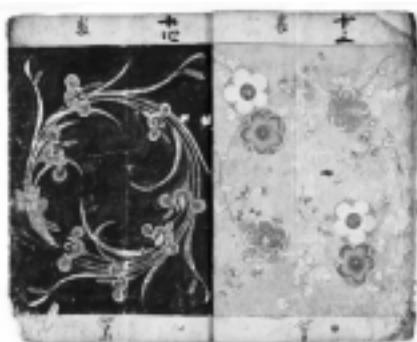


銘、新編紅洋紙拓本、上、
此拓本係由紅洋紙拓出，其紋樣為
由一連串之菱形組成，其中心
為一圓形，其外圍為一正方形，
此種紋樣，在紅洋紙拓本中，
極為罕見，故極具珍貴價值。

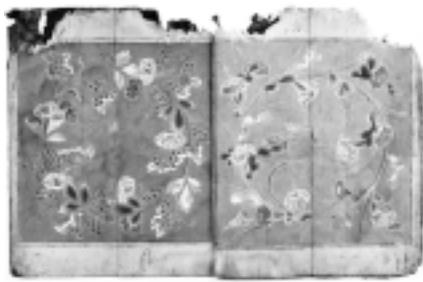


銘、新編紅洋紙拓本、上、
此拓本係由紅洋紙拓出，其紋樣為
由一連串之菱形組成，其中心
為一圓形，其外圍為一正方形，
此種紋樣，在紅洋紙拓本中，
極為罕見，故極具珍貴價值。

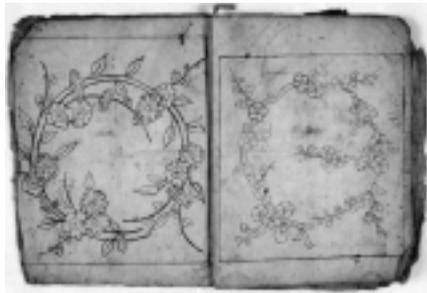
1 紅型型紙拓本



3 沢岷家文様图案帖



4 沢岷家文様图案帖



5 沢岷家文様图案帖

染織資料の概要と凡例

染織資料は、実物資料14点であった。紅型染見本裂では、八ガキ大の布地80枚が一括して1点として登録されていた。したがって、染織資料14点の内容を正確に把握することを本プロジェクトの目的とした。

染織資料班では、まずこれらの資料について、写真撮影を行った。さらにそれぞれの資料について個別に識別できるよう調査を行い、写真付きのデータベースを作成した。

染織関係資料データベースには以下の8項目のフィールドを設定した。

(1)分類コード(2)名称(3)形態(4)技法(5)地色(6)寸法(7)産地(8)備考

以下にそのフィールドの詳細を記す。

- (1) 資料の形態別に分類コードA～Eを設定し分類した。

形態別分類コード

A:型染見本、B:着物、C:裂、D:風呂敷、E:飾布

資料番号：一つの資料中に複数の資料が含まれるものについては、01-01、01-02のようにハイフンでつなぎ分類コードとした。

- (2) 名称

染織品に関しては「素材」+「地色」+「文様」+「技法」+「形態」の順で名称をつけた。

- (3) 形態

型染見本、着物、裂、風呂敷、飾布に分類した。

- (4) 技法

型染、筒描、手描、染、絣に分類した。

- (5) 地色

染織品の地染めの色を記した。

- (6) 寸法

資料の寸法をタテ×ヨコの順番で記載した。単位はcm。

- (7) 産地

沖縄以外と思われるものは空欄とした。

- (8) 備考

備考欄には、銘の記載されていたもの、素材や染めについての特徴的な事柄に

ついて記載した。

その結果、「鎌倉新資料」の染織資料は下記のように分類把握することが出来た。

資料総点数139点

型染見本3種類

A-01 長尺木綿型染見本：計19点

A-02 長尺木綿細模様型染見本：計29点

A-03 木綿臙型染見本：計80点

着物3点

B-01 木綿浅地流水菖蒲蝶模様紅型着物

B-02 麻紺地松桐松川菱模様手描着物

B-03 麻紺地松竹梅稻妻模様手描着物

裂6点

C-01 絹緑地鎖繫菊紋型染裂

C-02 木綿水色地流水楓模様型染裂

C-03 木綿紺地唐獅子模様筒描裂

C-04 木綿紺地鶴桐松模様筒描裂

C-05 茶色地裂

C-06 白地松葉模様裂

風呂敷1点

D-01 麻紺地松竹梅丸紋模様筒描風呂敷

飾布1点

E-01 芭蕉生成地緯緋飾布

詳細な調査と研究は、今後の課題であるが、現時点で明らかなことは、A-03 臙型見本は、80点であった。C-01 伝イシキナ八按司時代の型染裂は、資料的に価値がある。特に資料が台紙に貼り付けられていないことに意味がある。銘入り紅型染見本や多数の臙型染見本も含まれており、今後の調査研究が期待できる。

染 織 資 料

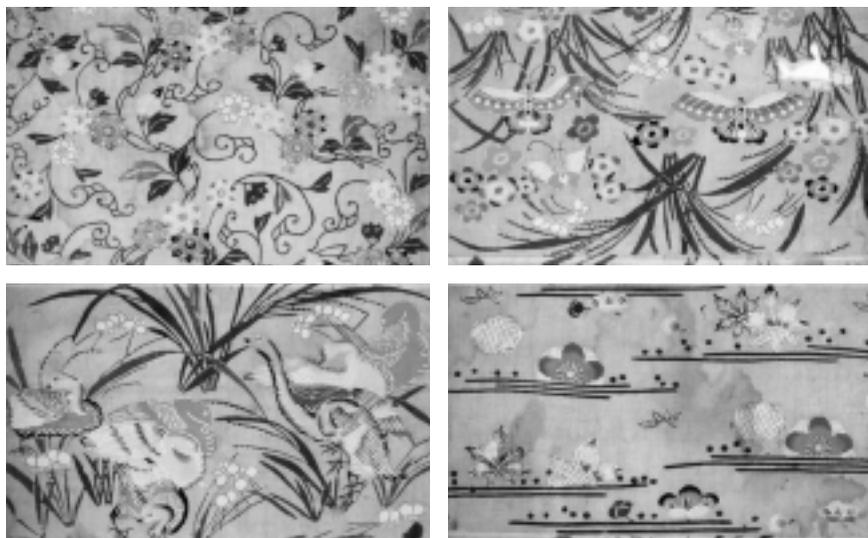
A-01-01	長尺木綿型染見本その1	型染 裂	水色地	沖縄	光緒17年10月4日城間龜の銘あり
A-01-02	長尺木綿型染見本その2	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-03	長尺木綿型染見本その3	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-04	長尺木綿型染見本その4	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-05	長尺木綿型染見本その5	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-06	長尺木綿型染見本その6	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-07	長尺木綿型染見本その7	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-08	長尺木綿型染見本その8	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-09	長尺木綿型染見本その9	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-10	長尺木綿型染見本その10	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-11	長尺木綿型染見本その11	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-12	長尺木綿型染見本その12	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-13	長尺木綿型染見本その13	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-14	長尺木綿型染見本その14	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-15	長尺木綿型染見本その15	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-16	長尺木綿型染見本その16	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-17	長尺木綿型染見本その17	型染 裂	ピンク地	沖縄	
A-01-18	長尺木綿型染見本その18	型染 裂	水色地	沖縄	
A-01-19	長尺木綿型染見本その19	型染 裂	水色地	沖縄	
A-02-01	長尺木綿細模様型染見本その1	型染 裂	紫地	沖縄	手織布
A-02-02	長尺木綿細模様型染見本その2	型染 裂	赤地	沖縄	手織布
A-02-03	長尺木綿細模様型染見本その3	型染 裂	緑地	沖縄	手織布
A-02-04	長尺木綿細模様型染見本その4	型染 裂	黒地	沖縄	手織布
A-02-05	長尺木綿細模様型染見本その5	型染 裂	紫地	沖縄	手織布
A-02-06	長尺木綿細模様型染見本その6	型染 裂	赤地	沖縄	手織布
A-02-07	長尺木綿細模様型染見本その7	型染 裂	ピンク地	沖縄	手織布

A-02-08	長尺木綿細模様型染見本その8	型染	裂	赤地	沖繩	手織布
A-02-09	長尺木綿細模様型染見本その9	型染	裂	緑地	沖繩	手織布
A-02-10	長尺木綿細模様型染見本その10	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-11	長尺木綿細模様型染見本その11	型染	裂	赤地	沖繩	手織布
A-02-12	長尺木綿細模様型染見本その12	型染	裂	黒地	沖繩	手織布
A-02-13	長尺木綿細模様型染見本その13	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-14	長尺木綿細模様型染見本その14	型染	裂	ピンク地	沖繩	手織布
A-02-15	長尺木綿細模様型染見本その15	型染	裂	緑地	沖繩	手織布
A-02-16	長尺木綿細模様型染見本その16	型染	裂	赤地	沖繩	手織布
A-02-17	長尺木綿細模様型染見本その17	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-18	長尺木綿細模様型染見本その18	型染	裂	黒地	沖繩	手織布
A-02-19	長尺木綿細模様型染見本その19	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-20	長尺木綿細模様型染見本その20	型染	裂	黒地	沖繩	手織布
A-02-21	長尺木綿細模様型染見本その21	型染	裂	ピンク地	沖繩	手織布
A-02-22	長尺木綿細模様型染見本その22	型染	裂	黒地	沖繩	手織布
A-02-23	長尺木綿細模様型染見本その23	型染	裂	赤地	沖繩	手織布
A-02-24	長尺木綿細模様型染見本その24	型染	裂	ピンク地	沖繩	手織布
A-02-25	長尺木綿細模様型染見本その25	型染	裂	緑地	沖繩	手織布
A-02-26	長尺木綿細模様型染見本その26	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-27	長尺木綿細模様型染見本その27	型染	裂	ピンク地	沖繩	手織布
A-02-28	長尺木綿細模様型染見本その28	型染	裂	紫地	沖繩	手織布
A-02-29	長尺木綿細模様型染見本その29	型染	裂	赤地	沖繩	手織布
A-03-01	木綿臈型染見本裂1	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-02	木綿臈型染見本裂2	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-03	木綿臈型染見本裂3	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-04	木綿臈型染見本裂4	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-05	木綿臈型染見本裂5	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-06	木綿臈型染見本裂6	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-07	木綿臈型染見本裂7	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-08	木綿臈型染見本裂8	型染	裂	多色	沖繩	

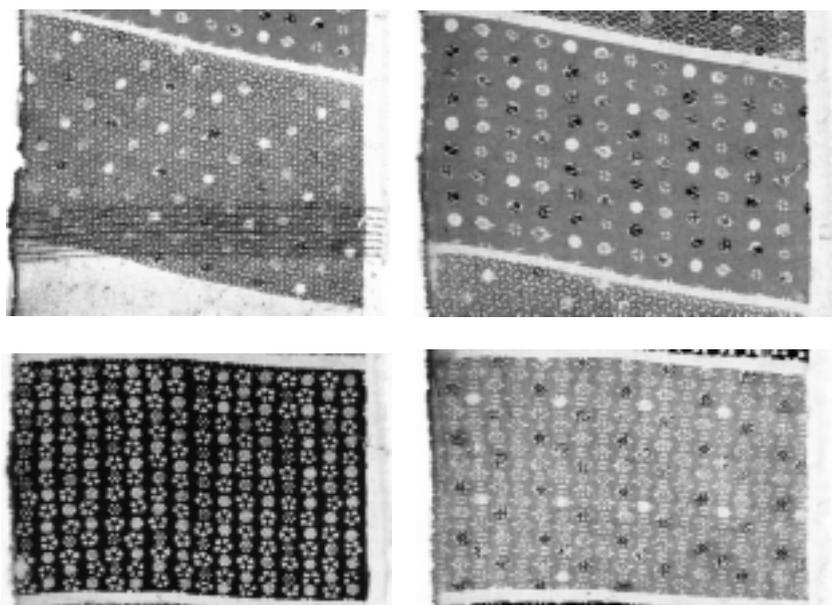
A-03-09	木綿臙型染見本裂9	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-10	木綿臙型染見本裂10	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-11	木綿臙型染見本裂11	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-12	木綿臙型染見本裂12	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-13	木綿臙型染見本裂13	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-14	木綿臙型染見本裂14	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-15	木綿臙型染見本裂15	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-16	木綿臙型染見本裂16	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-17	木綿臙型染見本裂17	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-18	木綿臙型染見本裂18	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-19	木綿臙型染見本裂19	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-20	木綿臙型染見本裂20	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-21	木綿臙型染見本裂21	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-22	木綿臙型染見本裂22	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-23	木綿臙型染見本裂23	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-24	木綿臙型染見本裂24	型染	裂	多色	沖繩	裏面藍色
A-03-25	木綿臙型染見本裂25	型染	裂	多色	沖繩	裏面藍色
A-03-26	木綿臙型染見本裂26	型染	裂	多色	沖繩	裏面藍色
A-03-27	木綿臙型染見本裂27	型染	裂	多色	沖繩	裏面藍色
A-03-28	木綿臙型染見本裂28	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-29	木綿臙型染見本裂29	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-30	木綿臙型染見本裂30	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-31	木綿臙型染見本裂31	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-32	木綿臙型染見本裂32	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-33	木綿臙型染見本裂33	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-34	木綿臙型染見本裂34	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-35	木綿臙型染見本裂35	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-36	木綿臙型染見本裂36	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-37	木綿臙型染見本裂37	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-38	木綿臙型染見本裂38	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千

A-03-39	木綿臙型染見本裂39	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-40	木綿臙型染見本裂40	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-41	木綿臙型染見本裂41	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-42	木綿臙型染見本裂42	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-43	木綿臙型染見本裂43	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-44	木綿臙型染見本裂44	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-45	木綿臙型染見本裂45	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-46	木綿臙型染見本裂46	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-47	木綿臙型染見本裂47	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-48	木綿臙型染見本裂48	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-49	木綿臙型染見本裂49	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-50	木綿臙型染見本裂50	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-51	木綿臙型染見本裂51	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-52	木綿臙型染見本裂52	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-53	木綿臙型染見本裂53	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-54	木綿臙型染見本裂54	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-55	木綿臙型染見本裂55	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-56	木綿臙型染見本裂56	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-57	木綿臙型染見本裂57	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-58	木綿臙型染見本裂58	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-59	木綿臙型染見本裂59	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-60	木綿臙型染見本裂60	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-61	木綿臙型染見本裂61	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-62	木綿臙型染見本裂62	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-63	木綿臙型染見本裂63	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-64	木綿臙型染見本裂64	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-65	木綿臙型染見本裂65	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-66	木綿臙型染見本裂66	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千
A-03-67	木綿臙型染見本裂67	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-68	木綿臙型染見本裂68	型染	裂	多色	沖繩	二枚八千

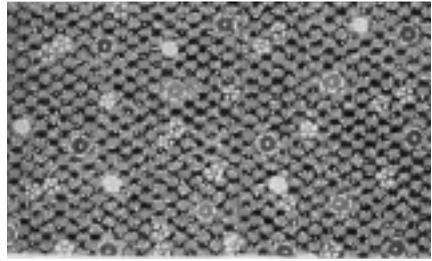
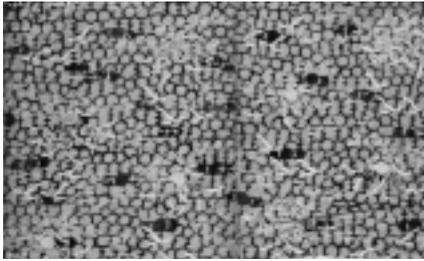
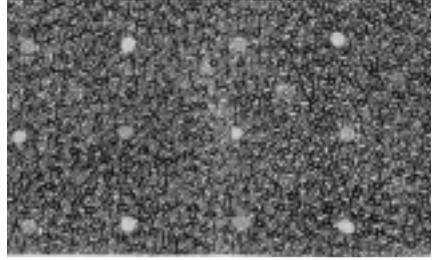
A-03-69	木綿臙型染見本裂69	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-70	木綿臙型染見本裂70	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-71	木綿臙型染見本裂71	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-72	木綿臙型染見本裂72	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-73	木綿臙型染見本裂73	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-74	木綿臙型染見本裂74	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-75	木綿臙型染見本裂75	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-76	木綿臙型染見本裂76	型染	裂	多色	沖繩	二枚八ギ
A-03-77	木綿臙型染見本裂77	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-78	木綿臙型染見本裂78	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-79	木綿臙型染見本裂79	型染	裂	多色	沖繩	
A-03-80	木綿臙型染見本裂80	型染	裂	多色	沖繩	
B-01	木綿浅地流水菖蒲蝶模様紅型着物	型染	着物	水色地	沖繩	
B-02	麻紺地梧桐松川菱模様手描着物	手描	着物	紺地		
B-03	麻紺地松竹梅稲妻霞模様手描着物	手描	着物	紺地		
C-01	絹緑地鎖繫菊紋型染裂	型染	裂地	緑地	沖繩	伝イシキナハ時代
C-02	木綿水色地流水楓模様型染裂	型染	裂	水色地	沖繩	包装紙に名物裂と書き付け
C-03	木綿紺地唐獅子模様筒描裂	筒描	裂	紺地		
C-04	木綿紺地鶴桐松模様筒描裂	筒描	裂	紺地		
C-05	茶色地裂	染	裂	茶色地	ベンガラ引染	
C-06	白地松葉模様裂	染	裂	白地		
D-01	麻紺地松竹梅丸紋模様筒描風呂敷	筒描	風呂敷	紺地	沖繩	寿の紋あり
E-01	芭蕉生成地緯緋飾布	緋	飾布	生成地	沖繩	度(5cm)あり 布幅約34cm



A-01 長尺木綿型染見本



A-02 長尺木綿細模様型染見本



A-03 木綿臙型染見本裂



C-01 絹緑地鎖繫菊紋型染裂



C-02 木綿水色地流水楓模様型染裂



B-01 木綿浅地流水菖蒲蝶模様紅型着物



D-01 麻紺地松竹梅丸文紋模様筒描風呂敷

陶磁器資料の概要と凡例

新資料の中には、木箱に入った陶磁器片が多数含まれていた。鎌倉氏が首里城周囲を歩き、表面採集したものであることがわかっている（元岩波書店顧問高草茂氏講演会より）

陶磁片については、洗浄のうえ接合作業を行い、実測図を作成した後、写真撮影を行った。

陶磁器片については、下記の項目を設定し、調査・入力を行った。

分類項目

(1)番号(2)産地(3)釉(4)器種(5)文様(6)残存状態(7)残存部位

(1)番号

主に器種と釉薬の種類によって分類し、整理番号をつけた。

(2)産地

壺屋焼、輸入陶磁に分類した。

(3)釉

釉薬のかけられているものについて記した。白釉、灰釉、黒釉、飴釉、透明釉など。

(4)器種

碗、黒釉碗、面取小碗、小碗、小壺、徳利、急須、香炉、青磁碗、青磁小碗の10種類に分類した。

(5)文様

絵付けされていた資料は11点あり、それぞれ絵付、針彫、呉須絵付、赤絵、三島手の5種類が見られた。

(6)残存状態

残存状態を、ほぼ完形、3/4、1/3、1/2、大破片、破片、小破片に分類した。

(7)残存部位

残存部位は、口縁部～底部、胴部～底部、底部、胴部、口縁部に分類した。

分類結果

総計67点 接合できない破片も同一の資料と判別できるものについては1点とした)

- ・ 碗：計43点
白釉36点（うち絵付6点）
黒釉7点
- ・ 小碗：8点
- 面取小碗：6点
- 小碗2点
- ・ 小壺：1点
- ・ 徳利：3点（うち絵付3点）
- ・ 急須：1点（絵付1点）
- ・ 盃：1点
- ・ 香炉：1点（絵付1点）
- ・ 青磁碗：8点
- ・ 不明：1点

陶磁器資料班においては、産地は概ね壺屋焼と輸入陶磁に大別され、完形又はほぼ完形で残存しているものは5点であるが、輸入陶磁の中に、交易品としてのこれまでの記録に新たに付加すべきものも見出された

さらに接合作業を進めた結果、陶磁器片が研究資料として価値のあることが再認識された。同型の碗(マカイ)が多数存在することから、王府の接客を行う部署が寺院などの出土品とも推測でき、今後も継続して研究を行う必要があることがわかった。

陶磁器資料

1	壺屋焼	白釉	碗	ほぼ完形
2	壺屋焼	白釉	碗	ほぼ完形
3	壺屋焼	白釉	碗	1/2
4	壺屋焼	白釉	碗	3/4
5	壺屋焼	白釉	碗	1/2
6	壺屋焼	白釉	碗	3/4
7	壺屋焼	白釉	碗	1/3
8	壺屋焼	白釉	碗	1/2
9	壺屋焼	白釉	碗	3/4
10	壺屋焼	白釉	碗	1/2
11	壺屋焼	白釉	碗	1/2
12	壺屋焼	白釉	碗	1/2
13	壺屋焼	白釉	碗	1/2
14	壺屋焼	白釉	碗	大破片
15	壺屋焼	白釉	碗	大破片
16	壺屋焼	白釉	碗	1/3
17	壺屋焼	白釉	碗	破片
18	壺屋焼	白釉	碗	大破片
19	壺屋焼	白釉	碗	大破片
20	壺屋焼	白釉	碗	1/3
21	壺屋焼	白釉	碗	1/3
22	壺屋焼	白釉	碗	絵付 1/2
23	壺屋焼	白釉	碗	破片
24	壺屋焼	白釉	碗	破片
25	壺屋焼	白釉	碗	小破片
26	壺屋焼	白釉	碗	小破片
27	壺屋焼	白釉	碗	小破片
28	壺屋焼	灰釉?	碗	破片

29	壺屋焼	灰釉	碗		破片
30	壺屋焼	灰釉	碗		破片
31	壺屋焼	白釉	碗	絵付	3/4
32	壺屋焼	白釉	碗	絵付	大破片
33	壺屋焼	白釉	碗	釘彫	破片
34	壺屋焼	白釉	碗	呉須絵付	破片
35	壺屋焼	白釉	碗	赤絵	破片
36	壺屋焼	白釉	碗?	絵付	破片
37	壺屋焼	黒釉	黒釉碗		1/2
38	壺屋焼	黒釉	黒釉碗		2/3
39	壺屋焼	黒釉	黒釉碗		3/4
40	壺屋焼	黒釉	黒釉碗		1/3
41	壺屋焼	黒釉	黒釉碗		1/3
42	壺屋焼	飴釉	碗?		小破片
43	壺屋焼	飴釉	碗?		小破片
44	壺屋焼	灰釉	面取小碗		ほぼ完形
45	壺屋焼	灰釉	面取小碗		1/2
46	壺屋焼	白釉	面取小碗		3/4
47	壺屋焼	白釉	面取小碗		3/4
48	壺屋焼	透明釉	面取小碗		1/4
49	壺屋焼		面取小碗		破片
50	壺屋焼	白釉	小碗		ほぼ完形
51	壺屋焼	灰釉	小碗		1/2
52	壺屋焼	焼締	小壺?		破片
53	壺屋焼	飴釉	德利	三島手	破片
54	壺屋焼	白釉	德利	呉須絵付	破片
55	壺屋焼	白釉	德利	呉須絵付	完形
56	壺屋焼		急須	絵付	破片
57	壺屋焼		盃		1/2
58	壺屋焼	呉須釉	香炉?		破片

59	壺屋焼	黒釉	不明	破片
60	輸入陶磁		青花碗	破片
61	輸入陶磁		青磁碗	大破片
62	輸入陶磁		青磁碗	破片
63	輸入陶磁		青磁碗	破片
64	輸入陶磁		青磁碗	破片
65	輸入陶磁		青磁碗	破片
66	輸入陶磁		青磁碗	破片
67	輸入陶磁		青花小碗	完形







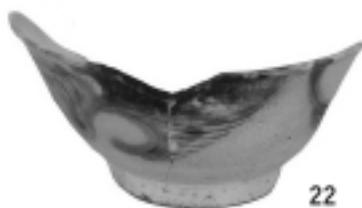
11



12



21



22



31



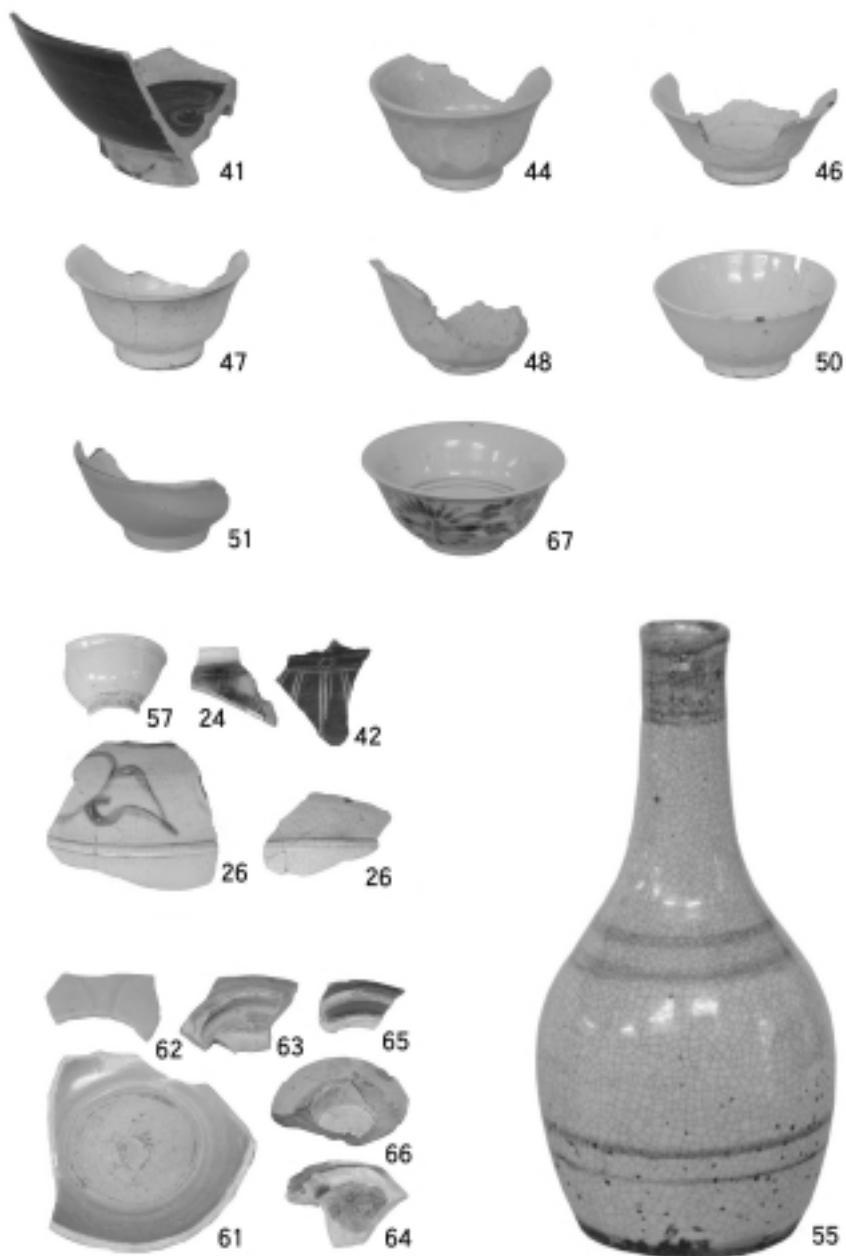
38



39



40



写真資料の概要と凡例

寄贈された鎌倉新資料のなかで写真資料として目録に記載されているものは

1.琉球芸術調査資料 2.紅型関係資料 3.仏像関係資料 4.別種紙焼き資料(巻物状) 5.展覧会関係資料 に大別される。

既に本学に寄贈された鎌倉資料の写真についてはデータベースが構築中であり、新資料と既存データベースとの照合を視野に入れ、調査は主に飯田くるみ(沖縄県立芸術大学芸術文化学研究所)が行った。

一枚ごとの紙焼写真について、次のような項目を設定しデータベース化した。

(1)番号 (2)旧写真との対応 (3)備考

(1)番号

資料の整理番号であり、総数は256である。データベース作成のために便宜的に付けたものである。写真資料を画像データにするためのスキャニングを行った順に番号を振った。

(2)旧写真との対応

この項目は、新資料を「鎌倉芳太郎写真画像データベース」のデータと照合させ対応するものがあった場合に、その番号(「鎌倉芳太郎写真画像データベース」の整理項目の一つ)を記したものである。

(3)備考

この項目は、新資料を「鎌倉芳太郎写真画像データベース」のデータと照合させ対応するものがあった場合に、その名称(「鎌倉芳太郎写真画像データベース」の整理項目の一つ「名称」)を記したものである。対応するものがなかった場合、「不明」とし、その後に分類、又は分かる範囲内での資料に関する情報を記載した。また、「鎌倉芳太郎写真画像データベース」中に同じ資料で別の写真がある場合、その資料番号を「 」と記載した。これは「鎌倉芳太郎写真画像デー

データベース」の整理項目「備考・目録用」にある記載を参考にした。その他、特記事項はここに記した。

資料概要

既存のデータベースとの対応状況を確認した結果、建造物や仏像関係、器物等の写真資料のほとんどは、既存の「鎌倉芳太郎写真画像データベース」と対応していることが判明した。紅型型紙の写真資料は97点であり、およそ70点あまりは、本学が所蔵している紅型型紙であろうと予想される。染織品の写真資料については一部本学所蔵品と対応するものも含まれるが、今後の研究が必要と考えられる。

写真資料

- | | | |
|-----|------|---|
| 001 | 1212 | 円覚寺 仏殿東南隅壇上三宝大荒神 |
| 002 | 851 | 中城御殿 書院絵戸 梅鶯薔薇図 |
| 003 | 1121 | 首里那覇全景図屏風部分 屋慶名政賀筆 |
| 004 | 077 | 仙寿院 不動明王像 |
| 005 | 912 | 八重山権現堂 内陣扉絵麒麟図 伝大浜善繁筆 |
| 006 | 75 | 雪景山水図 屋慶名政賀筆 742 |
| 007 | 254 | 虎図 859 |
| 008 | 507 | 虎図 856 |
| 009 | 1137 | 青白釉土地神像 |
| 010 | 902 | 八重山桃林寺山門 仁王(阿形)背面 |
| 011 | 913 | 八重山桃林寺山門 仁王(吽形) |
| 012 | 1219 | 八重山権現堂 本殿内陣正面四柱鬼面 |
| 013 | 1123 | 八重山権現堂 本殿内陣鬼面と板絵薔薇鳳凰図 |
| 014 | 1122 | 首里那覇全景図屏風部分 屋慶名政賀筆 |
| 015 | 670 | 天尊廟 龍王御側立像(順風耳) |
| 016 | 890 | 天尊廟 龍王御側立像(千里眼) |
| 017 | 897 | 天尊廟 龍王御側立像(文官) |
| 018 | 1139 | 灯籠 |
| 019 | 1119 | 天尊廟 天尊前雷公像 |
| 020 | 1146 | 慈眼院観音堂 地藏菩薩像 |
| 021 | 1126 | 天尊廟 天尊前麒麟 |
| 022 | 894 | 寿老人図 向元瑚筆 |
| 023 | 876 | 首里那覇全景図屏風部分 屋慶名政賀筆 |
| 024 | | 不明 絵画 |
| 025 | 738 | 桐牡丹鳳凰図 向元瑚筆 |
| 026 | 907 | 円覚寺 仏殿東南隅壇上 土地神大帝大権修利菩薩(中央)感
応使者(左)掌簿判官(右) |
| 027 | 741 | 普化来迎図 座間味庸昌筆 |

028	870	山水図 座間味庸昌筆
029	849	八重山権現堂 本堂正面階段欄干獅子 大浜善巧作
030	1216	八重山桃林寺山門 仁王(阿形)
031	1217	八重山桃林寺山門 仁王(阿形)
032	740	秋景山水図 座間味庸昌筆
033	891	首里那覇全景図屏風 屋慶名政賀筆
034	678	神像、焼物、荒焼、関帝像、台座、蓮華座、壺屋製
035	1127	臨海寺 沖寺本尊薬師三尊像
036	1134	護国寺 不動明王像
037	407	不動明王二童子像*860
038	865	麒麟牡丹図
039	1143	飛龍把手煙草盆 大浜善巧作
040	681	天井鳳凰図
041	1136	不動明王立像
042	857	龍樋
043	1220	八重山権現堂 内陣扉絵麒麟図 伝大浜善繁筆
044	1145	花米膳一对 大浜善巧作
045	736	那覇文廟(至聖廟)孔子神位
046	668	八重山権現堂本堂と和装人物
047		不明 建築/風景
048	255	那覇綱引図 泉川寛英筆
049	1125	松下鐘道図 大浜善繁筆
050	1162	鉄線唐草鼓文様衣裳
051	1163	鉄線唐草鼓文様衣裳
052	439	尚恭浦添王子朝良公御後絵 部分(向かって左) 342
053	441	尚恭浦添王子朝良公御後絵 部分 ³⁴² 尚恭浦添王子朝良公御後 絵の一部、364
054	997	大黒天像
055	619	中城御殿 石灯籠
056	440	尚恭浦添王子朝良公御後絵 部分(向かって左上部)

057	575	茅葺民家と女性
058		不明 人物像 (琉装)
059		紅型型紙1079
060		紅型型紙1263
061		紅型型紙959
062		紅型型紙872
063		紅型型紙1016
064		紅型型紙786
065		紅型型紙833
066		紅型型紙1141
067		紅型型紙646 ?
068		紅型型紙550
069		紅型型紙1277
070		紅型型紙927
071		紅型型紙859
072		紅型型紙1325
073		紅型型紙897
074		紅型型紙805
075		紅型型紙901
076		紅型型紙983
077		紅型型紙1206
078		紅型型紙1190
079		紅型着物
080	021	崇元寺石門 背面
081		不明 建築
082	1197	琉装女性図
083	1081	今帰仁御嶽
084	887	首里城 正殿 正面
085	271	首里城 漏刻門 正面
086	490	御嶽

087		不明	首里城守礼門？
088	1092	首里城	圓比屋武御嶽石門
089	278	首里城	瑞泉門 正面
090		不明	紅型型紙
091		不明	紅型型紙
092		不明	紅型型紙
093		不明	紅型型紙
094		不明	紅型型紙
095		不明	紅型型紙
096		不明	紅型型紙
097		不明	紅型型紙
098		不明	紅型型紙
099		不明	紅型型紙
100		不明	紅型型紙
101		不明	紅型型紙
102		不明	紅型型紙
103		不明	紅型型紙
104		不明	紅型型紙
105		不明	紅型型紙
106		不明	紅型型紙
107		不明	紅型型紙
108		不明	紅型型紙
109		不明	紅型型紙
110		不明	紅型型紙
111		不明	紅型型紙
112		不明	紅型型紙
113		不明	紅型型紙
114		不明	紅型型紙
115		不明	紅型型紙
116		不明	紅型型紙

117	不明 紅型型紙
118	不明 紅型型紙
119	不明 紅型型紙
120	不明 紅型型紙
121	不明 紅型型紙
122	不明 紅型型紙
123	不明 紅型型紙
124	不明 紅型型紙
125	不明 紅型型紙
126	不明 紅型型紙
127	不明 紅型型紙
128	不明 紅型型紙
129	紅型裂567
130	紅型裂588
131	紅型裂605
132	紅型裂596
133	紅型裂580
134	紅型裂365
135	紅型裂348
136	不明 紅型裂
137	紅型裂111、338 右1/3が同柄
138	紅型裂307
139	紅型裂293、色違い404
140	不明 紅型裂
141	紅型裂382
142	紅型裂L
143	紅型裂606
144	紅型裂578
145	紅型裂552、色違い452
146	紅型裂041

147	紅型裂049
148	紅型裂009
149	紅型裂360
150	不明 紅型裂、037 一部色違い
151	紅型裂019
152	不明 紅型裂、299 同構成一部違い
153	紅型裂442
154	不明 紅型裂
155	紅型裂051
156	紅型裂059
157	紅型裂 K (上部)
158	紅型裂 I (下部)
159	紅型裂 K (下部)
160	紅型裂 J (下部)
161	不明 紅型裂
162	紅型裂012
163	紅型裂047
164	紅型裂058
165	不明 紅型裂、052 同構成一部違い
166	不明 彫刻
167	紅型型紙345
168	不明 紅型型紙
169	不明 紅型型紙
170	紅型型紙391
171	不明 紅型型紙
172	紅型型紙611
173	紅型型紙469
174	紅型型紙、鼎博525
175	紅型型紙761
176	紅型型紙473

177		紅型型紙687と同柄異型
178		紅型型紙706
179		紅型型紙486
180		紅型型紙321
181		紅型型紙789
182		紅型型紙508
183		紅型型紙575
184		不明 紅型型紙
185		紅型型紙465と同型、県博127
186		不明 紅型型紙
187		紅型型紙626
188		紅型型紙1138
189		紅型型紙831
190		紅型型紙389
191		不明 紅型型紙
192		紅型型紙328
193		不明 紅型型紙
194		不明 紅型型紙
195		紅型型紙、526 県博137
196		紅型型紙 184
197		紅型型紙733
198		紅型型紙338
199		紅型型紙696
200		紅型型紙776
201		紅型型紙623
202		紅型型紙577
203		不明 紅型型紙
204		紅型型紙532
205	1173	扇（牡丹）
206	582	八重山 大阿母前の神事正装新資料207と同じ台紙に

207	481	八重山美崎御嶽 司の神事正装新資料206と同じ台紙に
208	103	与喜屋のろくもいの神事正装
209	481	八重山美崎御嶽 司の神事正装 新資料207の大判
210	155	苧麻白地枝垂桜松霞小鳥流水菖蒲文様紅型上布衣裳(裏)新資料211と同じ台紙にオモテは新資料211、旧写真398
211	398	苧麻白地枝垂桜松霞小鳥流水菖蒲文様紅型上布衣裳(表)新資料210と同じ台紙にウラは新資料210、旧写真155
212	333	鶴文片口
213	110	牡丹雉流水蛇籠菖蒲文様紅型衣裳
214	1209	民家
215	785	仲宗根豊見親の墓
216	821	面
217	475	祭礼行列 旗頭
218	676	陶淵明図 部分 賛「帰去来辞」城間清豊筆
219	345	松下三高士囲碁図 城間清豊筆
220	885	松下三仙図
221	169	崇元寺 本堂天井天女図(琵琶)
222		不明 祭祀用具のスケッチ 鎌倉ノート?
223	994	那覇文廟(至聖廟)孔子祭典用器具裝飾籠
224	990	那覇文廟(至聖廟)孔子祭典用器具裝飾籠
225	803	木彫龍頭
226	991	那覇文廟(至聖廟)孔子祭典用器具裝飾籠
227	993	那覇文廟(至聖廟)孔子祭典用器具裝飾籠
228	64	慈眼院観音堂 狛犬
229	122	慈眼院観音堂 狛犬
230	922	獸耳唐草文香炉
231	265	平丸皿
232	662	花文獸耳花瓶
233	301	線彫色絵花鳥文皿
234	530	平鉢

- 235 703 絵付花文急須
- 236 427 菊花文土瓶
- 237 464 朱漆巴紋牡丹唐草沈金椀
- 238 76 山水楼閣人物沈金箱
- 239 460 朱塗巴紋牡丹唐草沈金蓋付椀と足付盆・馬上盃と方台
- 240 1123 八重山権現堂 本殿内陣鬼面と板絵薔薇鳳凰図
- 241 764 紗綾形螺鈿重箱
- 242 980 識名園離宮 桑木地水辺文堆錦煙草盆（正面）
- 243 502 雲龍彫印籠 犬根付
- 244 519 雲龍彫印籠
- 245 14 黒漆山水楼閣人物螺鈿料紙箱（上面）
- 246 989 紗綾形箔絵八角食籠と足付盆
- 247 956 唐草文蒔絵天目台
- 248 685 唐草文蒔絵天目台
- 249 1149 唐草文蒔絵天目台 （裏）新資料248、旧資料685の別アングル
- 250 610 「京太郎」老女の仮面
- 251 不明 絵葉書「琉球風俗 尾類馬踊（坂元商店発行）」と記載あり
- 252 不明 絵葉書「琉球風俗 四ッ竹踊（坂元商店発行）」と記載あり
- 253 不明 見取り図 鎌倉ノート？
- 254 不明 見取り図 鎌倉ノート？
- 255 不明 ムミンパタのスケッチ 鎌倉ノート？
- 256 不明 人物衣裳のスケッチ 鎌倉ノート？



写真024



写真047



写真081

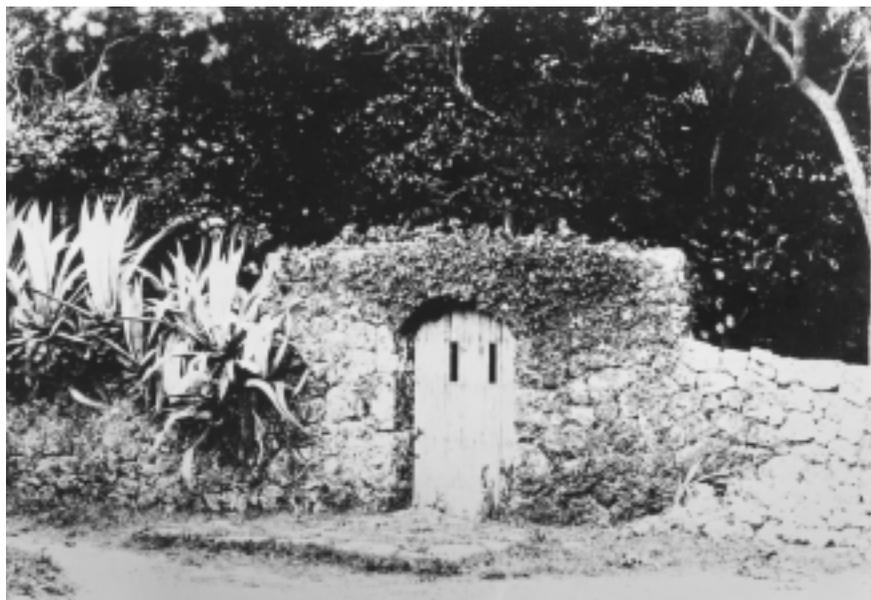


写真086